

2007年7月16日新潟県中越沖地震 7月25日調査報告

加藤大介、中村友紀子、南部正樹(新潟大学)、時田一雄(ポリテクカレッジ新潟)  
齋藤健、阿部博之、佐藤健一、宮島雄大(新潟大学自然科学研究科)

7:00 新潟大学発

国道402号線—国道352号線—国道116号線—国道352号で柏崎中心へ。県立柏崎アクアパーク(柏崎市学校町)近くの駐車場に駐車。

10:00 西本町1丁目の悉皆調査(結果は別に報告予定)

15:15 悉皆調査終了

15:30 遊技施設A(東本町2丁目閻魔通り)

正面隙間より中を覗いたところ、RC柱らしきものに損傷があり、主筋がみれたとの情報があった建物。既にブルーシートで密閉されていて中の様子はわからなかった(写真1-1)。閻魔通り側は2階建てであるが、柏崎駅側に斜面となっていて、柏崎駅側では3階建て(塔屋1階)になっていた(写真1-2)。さらに、塔屋を含む部分はRC造と思われる。建物側面中央部に外壁の剥離があった(写真1-3)。

16:00 商業ビルB(東本町2丁目閻魔通り)

建物Aの数軒さきと同じような商業ビルがある。閻魔通り側が3階で(写真2-1)、柏崎駅側では4階建てになっていた(写真2-2)。建物側面中央部に外壁の剥離があり、鉄骨が見えている(写真2-3)。

16:30 県立柏崎アクアパーク(柏崎市学校町)

海沿いを走る352通り沿いにある(写真3-1)。周辺は地盤変状が激しい。構造的に独立しているスロープ・外階段(写真3-2)が本体から大きく離れた(写真3-2、建物間の離れが45cm、直交方向のずれが38cm、上下方向は0cm)。本体側の周辺地盤も大きく沈下しており(50cm程度)、基礎スラブと基礎ばりがみえていた(写真3-4, 5)。一部の外観だけの観察であるが、上部構造の損傷は少なく、不同沈下により斜めひび割れが観察された程度である(写真3-6)。

17:00 柏崎発(西山ICより高速)

19:00 新潟大学着



写真1-1



写真1-2



写真1-3



写真2-1



写真2-2



写真2-3



写真3-1



写真3-2



写真3-3



写真3-4



写真3-5



写真3-6